

# おとすれ

47

発行:跡見校友会 桃李の会

〒112-8629  
東京都文京区大塚1-5-9  
TEL 03(3941)2742  
FAX 03(3941)2587  
E-mail : tohri-kai@atomi.ac.jp

## 幹事長挨拶

幹事長 萬葉 洋子



桃李の会の皆様「ごきげんよう」  
このごあいさつをする  
ことが三年ぶり  
となつてしまいまし  
た。令和元年七月に  
桃李の会七十周年

記念同窓会」が開催出来たのが夢のようでもあり、この三年間は不安と恐怖を抱えながら毎日を暮らす日々、平凡に過ごしていた月日がいかに幸せだったかを再認識させられたようにも思われます。

会の活動も、幹事長の私、副幹事長の田中、唐木常任幹事の高橋、原の五名での活動で三年間を過ぎてきました。その中で、長年会計を務めておりました山崎紀世恵さんがお亡くなりになり、仲間を失うという悲しい時を迎えるという事もありました。コロナ禍は世界中の人々が初めて味わう経験であり、私達にとっても波乱な三年間でございました。とはいえ私達は前へ進まなければなりません。今年「おとすれ47号」の発行をはじめ、まわりの状況をふまえながら、秋には関西支部会が開催出来る事を願っております。又学園も二〇二五年には学園創立百五十周年を迎えるにあたり様々なビジョンをねつておられるようですので楽しみに待つてみては如何でしょうか？

3ページにも掲載しておりますが学園へのご寄付「さくら咲く募金」へのご協力をよろしくお願いいたします。会からは昨年度、二百万円を寄付致しました事をご報告いたします。

未だコロナ禍は見通しが立っておりません。

どうぞ卒業生の皆様コロナに負ける事なく、お元気でいつの日かお逢いできる日を楽しみにご自愛下さい。



## 支部会だより

### 東海支部

幹事 30文 上野 理絵  
副幹事 30文 富士本 知世子  
副幹事 30文 湯浅 和子

梅雨の真つ只中に晴天に恵まれた五月二十九日、毎年恒例の東海支部同窓会を開催。今年のテーマは「鵜飼」。岐阜県は長良川の鵜飼いが有名ですので、宿泊も兼ねた同窓会を企画いたしました。とは言え、お泊りができない方のために日帰りプランも企画し、長良川沿いに佇む名店「ルシノワかわで」でゆつたりとランチコース。その後「鵜飼ミュージアム」へ。



ここで日帰りの方とはお別れし、宿泊組は、長良川沿いで唯一、宿から鵜飼乗船場へ直接行ける、そして地元では有名な温泉旅館「十八楼」へ。ここは赤褐色の温泉もあり、露天風呂から長良川を見ることのできるいい宿です。夕食は貸し切りのお部屋でお好きなお酒で盛り上がり、楽しいおしゃべりタイムのあとは鵜飼船へ。この日の鵜飼は、天気、水量、鵜の状態、鵜匠の状態、すべてが今までになく最高の状態だったそうです。東京からお越しいただきました山崎理事長、大塚前副学長、桃李の会の皆様、そして、初めてご参加くださった若い後輩たち、すてきな跡見の輪(和)の楽しいひとときでした。

### 関西支部

14期家 佐藤 富美子

#### 第四十七回関西支部同窓会を終えて

奈良公園の木々が色づき始めた十一月十四日、秋日和の穏やかな日に第四十七回跡見桃李の会関西支部の同窓会が、出席者二十二名のもと、奈良で開催されました。東京からは萬葉幹事長を始め七名の本部の役員の皆様も遠路はるばるお越し下さり、関西支部からはお顔なじみとなりました会員の皆様と一年振りにお目にかかり、終始なごやかな雰囲気の中同窓会となりました。

昼食は「花の月」で珍しい手巻き寿司をいただきました。萬葉様の、成功裡に終わった桃李の会の七十周年の事や、跡見の数々のグッズをお土産に頂戴して、懐かしい短大時代に思いを馳せる一日となりました。



午後は「春日野窯」にて、飾り皿の絵付けを楽しんで頂きました所、皆様個性豊かな配色で自作の作品が出来上がり、鳳凰を型取った飾り皿は奈良の記念として飾って頂けるのではと思っております。

次回は出席者のリクエストで「しゃも鍋」のご希望が多く、予約が取れば第四十八回は京都が会場になる事でしょう。皆様のお越しをお待ちしております。

# クラス会だより

## 六家クラス会 三十二弥生会

6家 岩崎 浩子  
 北原 喜久子  
 篠田 迪子  
 西巻 敦子

今秋は稀にみるスーパー台風の到来で、各地に大きな被害をもたらした。当日が心配されましたが、幸い好天に恵まれ、会員の出席は上々でした。

私達「弥生会」はこのクラス会だよりの常連です。その秘訣は桃李の会の幹事役をずっと続けて下さって居ります、

加納佐智子さんのお陰です。皆が育児や、介護等諸々に時間を費やしている間もずっと明かりを灯し続けて下さり今日に至りました。



最近はずいぶん平均十五、六人の出席率で引き継ぎノートは三冊に及んでいます。傘寿も過ぎ人生の終章を迎えるのに当って皆前向きです。当日杖のお世話にもならず銀座まで集まれるということは大変幸せな事だと思えます。

三十二弥生会は毎年会場が銀座の「大志満」で十月の中旬頃と決めて居りますので来年の再会をお約束し閉会致しました。

## 十文クラス会

10文 河上 正子

今年も天候に恵まれ、十月二十七日、京橋のレストランでクラス会が開かれました。昨年迄は、二十余名の出席者でしたが、今年は十名程。欠席理由が親や配偶者の介護から、本人の体調のよしあしに変わってきています。

八十を目前に控えてか、集合場所（ハガキに書かれている場所）の解釈が三通りになり、お互い「来てない」と少々騒ぎになりました。

料理は美味しく話ははずみ、銀座の喫茶店で二次会。気持ちは学生時代と変わっていないと思えました。

年に一度、毎年開かれているこのクラス会、来年も約束してお開きとなりましたが、来年は今年以上にたくさんさんの参加を願っています。お互い一年間頑張りましょう。



## 十文クラス会

今年も素晴らしいクラス会でした

国文科 10期生 黒星 恭子

待ち合わせの場所に向かうと溢れる笑顔で楽しそうに会話がはずむ懐かしい友、友！思わず駆け寄って再会を喜び合いました。銀座の素敵なレストランに席を移し、美味しい食事をいただきながらどんな内容かしら？と思いつけない程、夢中になって話が弾み、笑い、喜びあい、本当に楽しいひと時でした。仕事は息子さんに任せて、夫婦二人でゴルフを楽しんでいる方、趣味で始めた朗読の仕事が今では生き甲斐になっている方、この年で戸惑いながら始めた楽器で楽しんでいる方、又自分自身の介護の事、生前にお位碑の準備をした方が良いかしら等々、多方面に話が弾みました。皆さん年令と向き合い上手に人生を謳歌していらつしやるお姿に接し、六十年前に結んだこんな素敵な方々との絆が続いている事に感謝いたしました。

幹事の神原さんは毎年このような素敵な会をお世話して下さい、今年もビンゴのようなゲームで出席の私たちに商品をプレゼント！

すっかり甘えて楽しんでしまいました。来年も是非との会員の意見が出て、四月十五日に再会を約束し、元気でねを合言葉に散会致しました。

前号「70周年記念同窓会特集号」の次の号に載せるはずの「支部会だより」「クラス会だより」が、思いがけないコロナ禍の長期化により、制作のための登校もままならず、遅れましたことをお詫びいたします。

掲載時期は、お約束できない状況ですが、送っていただいた記事は、必ず掲載させていただきますので、これからも皆様の楽しい集いのお便りをお待ちしております。

## 三十二家クラス会

クラス会ー再び繋がったご縁ー  
 中村 恭子

私達、跡見学園短期大学家政科B組、第三十二期卒業生は二〇一八年十月の佳き日に都内のレストランでクラス会を開催する運びとなりました。出席者は総勢十八名、久しぶりに昔の仲間と会えるという喜びと同時に、昔のようにすぐに打ち解ける事が出来るのかという戸惑いもあったかと思えますが、それはまったくの杞憂で、顔を合わせた瞬間に学生時代にタイムスリップしました。皆様満面の笑顔で話に花が咲き、クラス会に設けられた時間はまたたく間に過ぎていきましました。

例えば私達が共有した時間はたったの二年間、長い人生からみたらほんの通過点に過ぎなかったかも知れません。ですからこうして再び集まれたという事は、ちょっとした奇跡と言えるのではないのでしょうか？

せっかくなので繋がったご縁を大切にしたい、今後の人生をより充実したものにしていただければ、こんなに嬉しい事はありません。



# 跡見 さくら 咲く 募金

150年の伝統をさらに未来へ

理事長ご挨拶

理事長 山崎一穎



桃李の会のみなさま、ごきげんよう。平素より学校法人跡見学園

の教育活動にご理解とご協力をいただいておりますこと、心より御礼申し上げます。1875年、創設者跡見花蔭先生が、新時代を生きる情操豊かな女性の育成を目指し開学してから、2025年には創立150周年を迎えます。現代社会に生きる女性に必要とされる最良の学びを提供できるよう、更なる体制の整備・充実を目指し、社会全体の幸福に貢献できる人材を育成していきたくと考えております。

跡見学園は150周年を機として、大学では学生会館の着工、今後は、中学校高等学校にカフェ・面談・自習等に自由に使えるフレキシブルなスペースの構築、脆弱であったICT環境のより一層の整備・充実を継続的に実施する予定です。

なお、2021年4月から「跡見学園創立150周年記念募金『跡見さくら咲く募金』」を開始しました。桃李の会のみなさまには、早々と675名1,691万9千円のご寄付をいただき、誠に感謝申し上げます。引き続きのお願いとなりますが、跡見学園の発展のためにこの節目となります「跡見学園創立150周年記念事業」推進にご賛同いただき、なお層のご支援を賜りたく心よりお願い申し上げます。

桃李の会のみなさまのご健勝とご多幸を祈念いたしております。

跡見学園は令和7年に創立150周年を迎えます。これを記念し、創立150周年記念事業を推進するため、「跡見さくら咲く募金」を創設しました。

- ① キャンパスのリフレッシュ化計画の推進、学生会館の建築(女子大学新座キャンパス)
- ② 中学校高等学校のフレキシブルスペース構想の推進(カフェ・面談・自習等のスペース)
- ③ ICT環境の更なる充実を図るため、オンライン授業の環境整備、AV設備の改修など、整備・充実を継続的に実施

ゆうちょ銀行またはみずほ銀行へのお振込みの他、学園ホームページ上ではクレジットカード決済、コンビニ決済、ペイジー決済をご利用いただけます。令和3年度には、桃李の会から200万円のご寄付を賜りました。心より御礼申し上げます。引き続き、卒業生のみなさまからの深いご理解と力強いご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## 跡見学園創立150周年記念募金 (跡見さくら咲く募金)

- ◆募集期間：～令和7年3月
- ◆募金目標：5億円(令和3年度寄付実績 50,167 千円)
- ◆1口1万円(1口未満のご寄付も有難く申し受けます。)
- ◆WEBサイトからのご寄付  
<https://www.atomi.ac.jp/contribution/3/>
- ◆パンフレット・振込用紙の送付希望と問い合わせ先

跡見学園募金事務局

TEL 03-3941-4100

メール bokin@atomi.ac.jp

スマホ・タブレットからはこちら



◆確定申告により所得税の控除が受けられます。必要な領収書等は学園からご送付いたします。

### 支部会へのお誘い

現在コロナ禍で開催できませんが、桃李の会で活動している支部会は五月中旬～下旬に開催の「東海支部会」、十一月上旬～中旬に開催の「関西支部会」です。

この度、紫会(女子大学校友会)より提案があり、山崎理事長及び小仲女子大学々長がご出席予定の会に限り、桃李の会々員へ参加のお誘いがあります。全国に十支部会があります。参加ご希望の方は桃李の会々室に詳細を問い合わせ下さい。

### お知らせ

支部会だより・クラス会だより・イベント等のお知らせは、そのつど「おとずれ」に掲載します。

### 証明書発行について

短大卒業生に対する証明書の発行については、跡見学園女子大学教務課(新座キャンパス)で行います。**文京キャンパスでの受付及び発行はいたしませんので、ご注意ください。**証明書の申請については、跡見学園女子大学教務課に直接来校して申し込む方法と、郵送にて申し込む方法があります。電話での申し込みは受け付けておりませんのでご了承ください。

証明書に関するお問い合わせにつきましては、**跡見学園女子大学教務課(TEL: 048-478-3340)**までお願いいたします。

#### ◆申込・問い合わせ先

**跡見学園女子大学 教務課**  
〒352-8501 埼玉県新座市中野 1-9-6 TEL: 048-478-3340(直通)  
<https://www.atomi.ac.jp/daigaku/campuslife/administration/kyomuka/og.html>

### 長きにわたり桃李の会の常任幹事を つとめていただき有難うございました。

専2文	奥村 良子	2019年11月12日逝去
専1家	福江 絢子	2021年10月15日逝去
10文	山崎 紀世恵	2021年10月29日逝去

常任幹事(会計)

### 住所変更お忘れなく!!

住所、名前など変更があった方は、必ず次の要領で届け出をしてください。届け出がないと、桃李の会及び学園からの郵便物が届きません。

- 〈住所変更届〉
- 校友会番号 (封筒宛名の下部に記載)
  - 卒業期・生年月日
  - 科・クラス
  - 氏名及び旧姓
  - 郵便番号・新住所
  - 電話番号

**跡見校友会桃李の会**  
〒112-8629  
東京都文京区大塚1-5-9  
TEL: 03(3941)2742  
FAX: 03(3941)2587  
E-mail: tohri-kai@atomi.ac.jp

以上を必ず葉書またはFAXでお知らせください。

**会室当番**  
年末、年始、夏休みを除いた火曜日(午前10時30分～午後3時)に当番が詰めております。

校友会番号にはこのような意味があります。

例: 56期卒業 家政科A 跡見花子の場合

料金別納郵便

〒112-8629  
文京区大塚1-5-9  
跡見 花子 様  
( : 5641001 )

卒業期 科 クラス 出席番号

科	1. 文科(国文) 2. 文科(英文) 4. 家政科 7. 生活芸術科	クラス	1. A 2. B 3. C 4. D
---	--	-----	------------------------------

### 編集後記

おとずれ47号をお届けします。「泣いて暮らすも一生、笑って暮らすも一生」コロナ禍で失ったもの、得たもの、多々あるかと思えます。普通に日常生活を送れていることが、どれほど幸せなことなのか、失ってみて初めて、いかに大事で貴重なものだったのかに気づきます。閉塞感のある生活の中にも、楽しいことを見つけられる毎日でありたいように。

担当 唐木・高橋・原